Trinity

当日限定上映 & 岐阜県初公開

ダンスアートフィルム『Trinity』
「ニューノーマルを強制される時代、我々ができることは何か?」

社会を構成する最小の数である「3」をベースにして作られた映像作品。「胎児」である地球が、コミュニケーションを通じて成長、崩壊、そして再び光を見つける近未来を描く。映画監督堤幸彦が、国内外で活躍中の3人のダンサー、そして東京2020 夏季オリンピック開会式の音楽を担当した原摩利彦の音楽と共に初のダンスアートフィルムに挑む。

生島翔、皆川まゆむ、森井淳、広山詞葉(特別出演)　監督・コンセプト・脚本:堤幸彦　時間:39分

truth

～蠢しき弔いの果て～

3/26(土)▶4/8(金)

今を生きる私たちの愛の喜劇
堤幸彦監督50作品目のハイクオリティ インディーズ映画!

突然てくなった恋人の部屋で3人の女性たちが鉢合わせ。元ヤンでシングルマザーのマロン、セレブな医師・さな、美貌を武器に受付の仕事をしている野心家の真弓…異なる個性の3人と恋人は同時につきあっていてこくなる直前、それぞれに「帰ったら大事な話がある」と留守電を残していた。3人は我こそ彼に最も愛された女だと主張をはじめる。女たちの仕絡なマウント合戦の結末は…。

広山詞葉、福宮あやの、河野知美／佐藤二朗(付度出演)　監督・原案:堤幸彦　配給:ラビットハウス　時間:72分　【日本】　PG12　©2021 映画「truth 蠢しき弔いの果て」パートナーズ

POINT
記念すべき50作目の新作を携えて、ついに堤幸彦監督が岐阜に来てくれます!堤監督といえば、『トリック劇場版』(2002)、『明日の記憶』(2006)、そして今月から全米公開が決まった嵐のライフフィルム『ARASHI Anniversary Tour 5×20 FILM "Record of Memories"』(2021)と幅広い活躍を手る日本映画のトップランナー!3月27日は面期的のダンスパフォーマンス映画『Trinity』(堤幸彦監督)の特別上映を、主演でダンサーの生島翔さんと『truth』主演女優・広山詞葉さんにも登場頂きトークショーを開催。こんな贅沢な時間を見逃す手はありません!ぜひ岐阜シネックスにお越しください。

生島翔(いくしま・しょう)

ダンサー、俳優、034productionsげ表。15歳で米芸術高校Idyllwild Arts Academyでダンスを始める。ニューヨーク大学を3年で卒業後、O-1アーティストビザ取得、NYではBessie賞受賞のPraval Zuotsiはやぎ出ん、Brooks等の作品に演する傍ら、併優としてJohn Strasbergに師事。2009年、ウィーンのImpulsTanz Festival見学会dance WEBに選出。同年、ドイツ・カッセル州立劇場とジャパリ賞。俳優としては、米映画『Darc』(Netflix)で準主役に抜擢、『明かり灯し』(仮田員人監督)、『ヴェニーナの二神士』(宮本恵門演出)、『きみはペット』(無蛇出監督)、『人質史』(谷賀一演出)、東日本大震災ドキュメンタリシーズ『Kesennuma, Voices.』等に出演。振付家としてMV『BIRDY.』(望珍嘉邦)、NHKドラマ『ピュア!』(藤原知之監督)他を担当。

広山詞葉(ひろやま・ことは)

1985年生まれ。広島県出身。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、映画、ドラマ、舞台、落語と幅広く活躍。主な出演作品に映画『ベルタ・マイクルター』(12)、『天空の蜂』(15)、『ファーストラヴ』(21)、『Trinity』(21)など、テレビドラマ『最後から二番目の恋』、NHK大河ドラマ『軍師官兵衛』、倉本聰作品『やすらぎの郷』、『SPECシリーズなど、舞台『秘密愛』とその妹』、『蓬地の女』などがある。2017年より女優業と並行し、映画の企画、プロデュース活動を開始。自身初のプロデュース映画『今夜新宿で、彼女は』(17、監督:山田徒奈)では、渋谷TANPEN映画祭2017プロデューサーガー賞/最優秀主演女優賞、山形国際ムービーフェスティバル2017大西金属賞/最優秀俳優賞、西湖映画祭2018グランプリ/最優秀女優賞、中之島映画祭2018後育賞を受賞した。19年よりアニエローズ学生映画祭にて審査員を務める。2022年は本作の緒かと、主演映画『ひとつぼっちな、映画』『舞音のレテラ』の公開を控える。

堤幸彦(つつみ・ゆきひこ)

1955年生まれ。愛知県出身。88年、森田芳光総監督のオムニバス映画『パカヤロー！ 私、怒ってます』の「笑顔なんだ」で映画監督デビュー。90年『「Ai-oU」』で長編映画デビュー。テレビドラマ『金田一少年の事件簿』、『ケイゾク』、『TRICKシリーズ』、『SPECシリーズは映画化もされ、ドラマと映画それぞれでヒットさせた。2015年にはイニシエーション・ラブ』『天空の蜂』で第40回記念報知映画賞・監督賞を受賞。舞台演出にも意欲的で、『神々人』、『真田十勇士』は映画版と舞台版を共に演出。18年に好評を博した『舞浮転生』は21年に再演した。主な監督作品に『TRICKシリーズ(00～14)』、『明日の記憶』(06)、『20世紀少年 三部作』(08～09)、『まぼろしの邪馬台国』(08)、『はやぶさ/HAYABUSA』(11)、『SPECシリーズ(12～13)』、『人魚の眠る家』(18)、『十二人の死にたいと思ってる』(19)、『望み』(20)、『ファーストラヴ』(21)などがある。風のコンサートを記録・映画化したライブフィルム『ARASHI Anniversary Tour 5×20 FILM "Record of Memories"』が現在公開中。

写真:馬場遼浩

上映&トークショー 3/27(日)

第60回 CINEX 映画塾

▷13:00～13:39『Trinity』上映
▷13:50～15:02『truth ～蠢しき弔いの果て～』上映
▷15:15～16:00 生島翔さん、広山詞葉さん、堤幸彦監督 トークショー

CINEX2
164名 全席指定

■会　場/岐阜CINEX 岐阜市日ノ出町2-20(柳ケ瀬・高島屋前)　■ゲスト/生島翔さん、広山詞葉さん、堤幸彦監督　■料　金/大人:1,500円　大学生:1,300円　小・中・高校:800円　シニア(60歳以上):1,000円(いずれも税込)

岐阜CINEX劇場窓口、WEB・ファミリーマートにてチケット販売中!!

WEB・ファミリーマートでご購入の方へ
※お申し込みには「岐阜新聞映画部チケット」への会員登録(無料)が必要です。
※チケット券面額以外に手数料が別途掛かります。
※3/25(金)以降は岐阜CINEX劇場窓口のみでの販売です。
WEB・ファミリーマートでの購入方法はこちら
https://www.funiti.jp/tickets/gifus/showlist

新型コロナウイルス対策万全で開催します!　イベント開催時には、最前列の客席を使用禁止とし、登壇ゲストとお客様の距離を2m以上空けて開催いたします。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。　▶お問い合わせ　岐阜CINEX　TEL 058-264-7151

※時間は変更になる場合がございます。予めご了承ください。※運営スタッフまたは各種報道関係者がキャメペンの様子を撮影し、撮影した動画、写真などを利用、テレビ、ウェブサイトその他各種媒体において掲載、放映される場合がございます。また、急雨変更、天候、災害その他やむを得ない事由により中止になる場合もございます。予めご了承ください。

3/12(土)▶25(金)

こんにちは、私のお母さん

POINT
これは稀有な面白中国映画!ジア・リン監督が女性映画監督として世界興業収入記録を塗りかえたという逸品。自心脳本と主演ならなすという難り業をこなした、タイムスリップスメディとして、これほど嬉味なく、異やかに楽しめる作品もざにはない!中国版朝ドラのように安心感に満たた映画です。1980年代の雰囲気が絶妙!母と娘で観ればた最高です有。

若き日の母に会えたら、あなたは何をしますか?
興行収入約900億円を記録、中国全土が笑って泣いたパラレルワールド・コメディ!

高校生ジア・シャオリンと優しい同級生ワイ・ホワンには大の仲良し。ジアの大学合格祝賀会を終え、二人乗りした自転車で帰る途中、交通事故に巻き込まれてしまう。意識のない母を見てジアは泣き続け、気がつくと…20年前の1981年にタイムスリップしていた!独身の若かりし母と“再会。したジアは、母に言労ばかりかけてきたことを心から悔やみ、親孝行するチャンスだと奮起。だが、ジアは“ある真実”に気づく…。

ジア・リン、チャン・シャオフェイ、シェン・トハ、チェン・フー、ワウ・ジア

監督/ジア・リン　配給:Tiger Pictures Entertainment、ハーク
時間:128分　【中国】
©2021 BEIJING JINGXI CULTURE & TOURISM CO., LTD. All rights reserved.

3/5(土)▶18(金)

麻希のいる世界

POINT
二人の主演女優(新谷ゆづみ、日高麻鈴)のためにオリジナル脚本で制作された塩田明彦監督作品。塩田監督といえば、『害虫』(2002)で思絡あおい&倉井俊を、最近作『よるなくも ひる』(2019)では山田涼介と門脇麦ら多くの女優を輝かせた名匠。大ヒットが『美食が笑う』(2002)の竹内結子の儚さを思い出す映画ファンも多いかも。今作での監督の思いは「生きる」こと。二人の新人女優の個性を得て、コロナ禍から清き出る熱くて強い映画に仕上がった。

重い持病を抱えて生きてきた高校2年生の由希は、ある日、麻希という同年代の少女と出会う。麻希は周囲に嫌われていたが、彼女の勝気なふるまいは由希にとっての生きるよすがとなり、ふと口ずさんだ麻希の美しい歌声に、由希はバンドの結成を試みる。一方で由希を慕う軽音部の祐介は、由希を麻希から引き離そうとやっきになる。お互いが思われて近づくほどに、その関係性は捻じ曲れる子感を高まらせ…。

塩田明彦監督・長編最新作
元さくら学院の新谷ゆづみ、日高麻鈴によるダブル主演

新谷ゆづみ、日高麻鈴、窪塚愛流、鎌田らい樹、八木優希
大橋律、松浦祐也、青山倫子、井浦新

監督・脚本:塩田明彦　配給:シマフィルム　時間:89分　【日本】
© SHIMAFILMS

岐阜新聞映画部

【協　賛】大和証券 Daiwa Securities　【協　力】キネマ旬報社
【企画・制作】岐阜新聞社営業局

映画みんと倶楽部 3月の活動

世界の映画賞レースもいよいよクライマックス。今月28日(日本時間)には、待ちに待ったアカデミー賞の受賞発表。濱口竜介監督作品『ドライブ・マイ・カー』が4部門(作品賞、監督賞、脚色賞、国際長編映画賞)の候補となった快挙は周知の通り。『寝ても覚めても』で映画部トークショーで岐阜シネックスにも来てくれた濱口竜介監督のオスカースピーチを期待したい。そして岐阜シネックスでの『ドライブ・マイ・カー』初上映もぜひ実現したい。

キネマ旬報3月下旬 映画業界決算特別号

発売中/特別定価:1,430円(税込)

最新号の表紙・巻頭特集は、『映画「おそ松さん」』。主演の一人であるSnow Manラウールへのインタビュー、現場ルポなど作品の魅力を伝えます!第二特集は「2021年映画業界総決算」。コロナ禍2年目の映画界の行方はどうだったのか。「日本映画・外国映画の興行収入一覧」、「世界映画事情」、「映画界事件簿」などで2021年の映画業界を総括しています。カラーグラビアは「猫は逃げた」から毎無充電。企画特集は「2021～2022年 アニメーション映画のゆくえ」、映画と生きる 第15弾「“持続可能な映画界を目指して”」。作品特集は『ナイル殺人事件』、『THE BATMAN－ザ・バットマン－』、『窓のムラブリ インドシナ最後の狩猟民』、『あの頃場』など。

キネマ旬報NEXT Vol.41

3月7日発売/1,000円(税込)

「キネマ旬報」の増刊「キネマ旬報NEXT」の最新号。巻頭特集は、亀梨和也が主演するWOWOW連続ドラマW「王様」(2022年3月12日～放送・配信スタート)。ロングインタビューと中田秀夫監督との対談で、この作品の見どころと思いを語っています。この話かには、中島歩人、在原勝利、毛野武亮、阿部顕嵐、白岩瑠姫、藤原大祐が登場。

日本映画初の快挙

『ドライブ・マイ・カー』

米アカデミー賞作品賞ノミネート

第94回米アカデミー賞の候補が発表され、濱口竜介監督の『ドライブ・マイ・カー』が作品賞、監督賞、脚色賞、国際長編映画賞の計4部門でノミネートされた。日本映画が作品賞で候補入りするのは初の快挙。日本人が監督賞候補に選ばれるのは『乱』の黒沢明監督以来36年ぶりだ。

©2021『ドライブ・マイ・カー』製作委員会

2018年12月に『寝ても覚めても』で映画部のトークショーにご登壇いただいた濱口監督は、小学5年生から中学1年生までを岐阜市で過ごし、「初めて映画を見に行くようになったのは柳ケ瀬の映画館だった」と語る。

アカデミー賞授賞式は、3月28日(日本時間)に開催。貴の行く末と共に、濱口監督の快進撃から今後も目が離せない。

前作さよならくちびる』ベートで会い、話す仲だ。

「『新谷さんだからこそ追いかけても麻希に逃げられる由希を演じることは簡単ではなかったところもありますが、麻希として日高さんを見ているうちに、麻希として『日高さん』新谷さんのことを信頼しているので、麻希として奔放に生きられました」

「『塩田監督』ものすごく普遍的な熱い強烈な愛の話です。ポスターのイメージから青春映画だと思われるかもしれないですが、想像するよりはるかに激しい鼓動を打っている映画。2人や祐介役の窪塚愛流さんが体温の高い芝居をしているのでぜひ観ていただきたいです」

世界のすべてを敵にまわしても君さえいればそれでいい…。『麻希のいる世界』には若者たちの真っすぐな情熱が詰まっている。「『新谷さん』観た後の余韻に浸っていただきたいです」、「『日高さん』1回観ただけでは核心にたどり着けない映画。何度も観ていただきたいです」。柳ケ瀬の岐阜CINEXで本日3月5日から18日まで。(青木義代)

若手俳優の熱い芝居に注目を
本日3月5日公開『麻希のいる世界』

重い持病を抱えて自分の生き方がわからなくなっていた高校2年生の由希は、魅力を感じた麻希を追いかけ、麻希のために動き出す―。

麻希に夢中になり、追いかける由希役の新谷ゆづみさん、不思議な魅力を持つ麻希役の日高麻鈴さん、監督・脚本の塩田明彦監督にお話を伺った。

左から塩田明彦監督、日高麻鈴さん、新谷ゆづみさん

3/19(土)▶4/1(金)

クレッシェンド　音楽の架け橋

POINT
あらゆる対立の中で、政治を越えた芸術の美たす役割は途方もなく大きい。まして音楽が人の心に訴える優しい響きは、人間本来の魂に眠くものを目じる。戦争続に音楽が人を繋ぐ映画は数多くあるが、今作の音楽のチカラは、民族の対立を越えて感動的だ。“ボレロ”やカノンの尊厳ある美しさを映画館で堪能してほしい。映画というフィクションを嘲笑うようにフクライナ問題が世界中の人々のムを苦ないま。「クレッシェンド(だんだん強くに)」NO WAR !!

世界が喝采!実話から生まれた感動作
争いを乗り越える演奏がここにある

世界的に有名な指揮者のエドゥアルト・スポルクは、紛争中のバレスチナとイスラエルから若者たちを集めてオーケストラを編成し、平和を祈ってコンサートを開くというプロジェクトを引き受ける。オーディションを勝ち抜き、家族の反対や軍の検問を乗り越え、音楽家になるチャンスを掴んだ20余人の若者たち。しかし、戦車やテロ攻撃に晒され惰みゆう両陣営は激しくぶつかり合ってしまう。

ベーター・シモニシェック、ダニエル・ドンスコイ、サブリナ・アマーリ

監督:ドロール・ザハヴィ　配給:松竹　時間:112分　【ドイツ】
© CCC Filmkunst GmbH

3/26(土)▶4/8(金)

ブラックボックス:音声分析捜査

POINT
「ブラックボックス」とはフライトレコーダーのこと。航空事故の原因調査に大きな役割を持つ、部屋に閉じもって默々と分析に向き合うワンシチュエーションの尖ったサスペンスかと思いきや、航空関係のあらゆる立場の人間が関わり、物語が縦横無尽に駆け巡るダイナミックなサスペンススリラーだ。『イヴ・サンローラン』(2014)や、最近では岐阜CINEXで2020年3月公開の『母との約束、250通の手紙』でも好演したピエール・ニネ主演。音の表現にもこだわりアリ、これは映画館で観ないと損!

テロか、操縦ミスか、陰謀か――
音声分析官が聴いた航空事故の戦慄の真相とは。

ヨーロピアン航空の最新型機がアルプスで墜落!乗客・乗務員316人全員の死だが確認される。司法警察の立会いの下、航空事故調査局の音声分析官、ボイスレコーダー、通称“ブラックボックス”を開くと、後者に乗り出したマチュー は、被害者の一人が夫に残した事故直前の留守電を聴いて、ブラックボックスの音と違うことに愕然とする。今、マチューのキャリアと命をかけた危険な探求が始まる―。

ピエール・ニネ、ルー・ドゥ・ラージュ、アンドレ・テュリエ

監督・脚本:ヤン・ゴゼラン　配給:キノフィルムズ　時間:129分　【フランス】
© 2020 / WY Productions - 24 25 FILMS - STUDIOCANAL - FRANCE 2 CINEMA - PANACHE Productions

3/26(土)▶4/8(金)

選ばなかったみち

POINT
昨年の傑作『ファーザー』を思い出した。認知症が進む父親に翻弄される娘の愛情物語。そのニューヨークに住むメキシコ人父親版?!どう見ても地蔵なアンソニー・ホプキンスとどう見ても母親タイプじゃない女優ルーニー・マーラの組み合わせ。認知症は残酷な病だ。娘の思いは国境と貧富の差を超えて共通。エル・ファニングが父親に捧げる真っ直ぐな愛情を優美に演じる。どうやらサリー・ポッター監督が実味娘を基にしているそうだ。「ここにない父親をリアルに描写する凄み。行き場を失う家族の愛を考える切なく哀しい映画になった。

映画部員 No.3
加藤るみさんのオススメ作品!!

認知症の父と娘のお話。認知症という病気を身近に感じたことはないけれど、この物語が身近に感じるのはわたしたちが日々感じている“後悔”の物語だからである。人はどうしても過去に囚われてしまう。そんな人間の本質を描きながらも、ラストは忘れられない温もりに包まれる。

父の幻想と娘の現実。
ふたりは同じ場所にいながらも、景色が異なる別々の24時間を生きた―。

ニューヨークに住むメキシコ人移民レオは作家であったが、認知症を患い、誰かの助けがなければ生活はままならず、娘モーレーの意思疎通も困難な状況になっていた。ある朝、モリーはレオを病院に連れ出そうとアパートを訪れる。モリーが開いながらもレオは、初恋の女性と出会った故郷メキシコや、作家生活に行き詰まり一人旅をしたギリシャを脳内で往来し、モリーとは全く別々の景色をみるのだった―。

ハビエル・バルデム、エル・ファニング、ローラ・リニー、サルマ・ハエック

監督・脚本:サリー・ポッター　配給:ショウゲート　時間:86分　【イギリス・アメリカ】
© BRITISH BROADCASTING CORPORATION AND THE BRITISH FILM INSTITUTE AND AP (MOLLI) LTD. 2020

岐阜新聞映画部WEBや公式SNSでは、映画部ライターによる作品評などを紹介!
岐阜CINEX上映作品をはじめ、最新映画の作品評も掲載されていますので、ぜひご覧ください。

情報発信中!!

新型コロナウイルスの感染防止策として、様々な対策を講じておりますので、ご来場をご検討の皆様もマスクの着用などの対策をした上でご来場いただけますと幸いです。お客様にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

Q アルコール消毒液は設置していますか?
A 劇場入口とチケット売り場に設置しています。

Q スタッフの方はどのような対策をしていますか?
A 劇場スタッフは常時マスクを着用しております。また、チケット売り場には透明なシートを設置して、飛沫の防止に取り組んでいます。

Q 密閉空間が心配なのですが…。
A 幕間に扉を開放するなどして、館内の換気の徹底をしています。

映画みんと倶楽部 限定上映作品 入場料金

大人 (1,800円のところ) 1,500円	大学生 (1,500円のところ) 1,300円	小・中・高校 (1,000円のところ) 800円	シニア(60歳以上) (1,200円のところ) 1,000円	サービスデー シネックスデー(毎週水曜日) (1,200円のところ) 1,000円	ファーストデー(毎月1日) 1,000円
					エブリデイ・ナイトサービス(毎日夕方18時以降) (1,300円のところ) 1,100円

上映作品に関するお問い合わせ　岐阜CINEX TEL 058-264-7151 岐阜市日ノ出町2-20(柳ケ瀬・高島屋前)

ココロかよさなる CCN 岐阜の身近なテレビネット
CCNは岐阜新聞映画部の活動を応援しています